

# 3月定例報告 市長総括説明会から

2月27日、平成27年第1回市議会定例会が開会しました。平成27年度のまちづくりの所信を述べ、提出議案を説明しましたので、その概要をお知らせします。

## ■所信

今年最大の課題は、地方創生への挑戦。目標達成のための有力な分野の一つは、若い人の定住促進です。また、「小さな世界都市」の実現に向けた努力をさらに加速させます。

## ■安全に安心して

### 喜らせるまち

一日市排水機場の設備や福祉防災公園を整備し、防犯灯LED化補助や健康ポイント制度を継続します。市立診療所の資機材を充実させ、豊岡健康福祉センターの耐震補強工事を実施します。

高齢者の生活支援等のため、生活支援コーディネーターを配置します。低所得者に臨時福祉給付金を支給します。

## ■人と自然が共生するまち

コウノトリの生息地保全を進め、野生復帰を通じた自然再生と地域再生の取組みの浸透を図ります。「豊岡型ライフスタイル」自然に抱かれた豊岡の新しい暮らし「かた」の取組みを推進します。

市民エコポイントに代え、健康ポイントとポイントを共有する環境ポイント制度を創設します。

## ■持続可能な「力」を

### 高めるまち

豊岡エキシビジョンの開催（東京）や海外戦略のターゲット・パリでの情報発信、フランス語版ホームページ開設で、本市の魅力を発信します。

「着物が似合う町」出石の定着のため、着物レンタル拠点施設整備などを支援します。

豊岡農業スクールや青年就農給付金等により、就農の意欲喚起と定着を図ります。休耕田での但馬牛の里地放牧、森林再生の戦略的ビジョンの策定、田結漁港の防波堤調査、浚渫等を行います。

地域経済活性化のためのプレミアム付商品券の発行を支援し、空き店舗等の出店者に

助成を行います。工場等新設の賃借料補助を新設します。

道路や橋の整備、Weぷらごの改修、公共交通計画の策定、奥山区(出石地域)での携帯電話基地局の整備をします。都市圏居住者の移住意向調査等やシティブロモーション事業を実施します。また、地域おこし協力隊を拡充します。

## ■未来を拓く人を育むまち

田鶴野幼稚園の保育室の改築等を行います。

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぶの祭典」を実行委員会主体で開催。子どもの野生復帰大作戦は、四季型周年プログラムに加え、地区公民館拠点プログラム

「出向く野生復帰大作戦」を巡回開催します。

## ■人生を楽しむ

### お互いを支え合うまち

図書館情報システムを更新し、コミュニティ・交流拠点としてのあり方を検討します。城崎防災倉庫の美術作品等収蔵庫への一部転用、出石家老屋敷の修理等を行います。永楽館歌舞伎公演を増やします。

円山川運動公園移転整備の用地買収、詳細設計等に取り

組みます。

新しい地域コミュニティは、自分たちの地域は自分たちで守るを基本に、住民と行政が役割分担し、協働して新しい地域運営の仕組みを作ります。組織の事務局を担い、地域の活動を支える人材として地域マネージャーを養成します。

## ■市政の運営

また、拠点となる地区公民館施設の改修等を行います。

城崎地域では、インバウンド対策の強化、城崎温泉泊覧会事業などで誘客促進します。また、城崎温泉まちづくりフォーラムを開催し、歴史的建造物の国登録有形文化財登録を目指します。

竹野地域では、竹野北前館を山陰海岸ジオパーク竹野エリアの拠点施設として整備し、参加体験型・滞在型観光を促進します。また、竹野浜ふるさと自立計画の活動拠点として空き家を整備します。

日高地域では、各種スポーツ大会や合宿を誘致し、スポーツのメッカ・観光スポットとして振興を図り、兵庫神鍋高原マラソン全国大会を開催します。また、竹貫区に大規模

模地場ソーラーを整備します。

出石地域では、出石永楽館や市立美術館・伊藤清永記念館を活用して、文化振興と地域活性化を図ります。また、重要伝統的建造物群保存地区の建物保存や出石城跡の整備等により観光振興を図ります。

但東地域では「シルク温泉やまびこ」を改修し、「たんたん温泉福寿の湯」の経営改善を支援します。「いのちの輝き体験教育旅行」やグリーンツーリズムで地域の活性化を図り、人口減少対策を検討します。

平成27年度に新市誕生10周年を迎えるに当たり、記念事業を実施します。

第3次行政改革大綱等に基き行政改革を推進します。

## ■主要項目

### ○但馬地域総合治水推進計画

浸水被害軽減のため、県総合庁舎駐車場の地下に雨水貯留施設を設置する案があり、県と共同で取り組みます。

### ○北但大震災90年

#### メモリアル事業

5月に講演会等、8月に総合防災訓練等のメモリアル事業を実施します。

○消防団員報酬の一元化

消防団員の報酬額を、6消防団の各階級別の最高報酬額で統一します。

○豊岡市総合相談・

生活支援センターの設置

生活困窮者の自立支援のため、同センターを設置し、豊岡市社会福祉協議会に運営委託する予定です。

○霊苑特別会計借入金の

繰上げ償還

市立東霊苑整備の借入金を一般会計からの繰入金で一括繰上げ償還します。

○加陽湿地拠点整備事業

平成27年度に実施設計と用地取得を行います。

○北但ごみ処理施設整備事業

施設完成は平成28年7月末ですが、ごみ受け入れは同年4月からできる見込みです。

○下水道使用料改定

平成28年度から返済資金不足が見込まれるため、使用料改定を検討します。

○販路拡大支援アドバイザー

専門アドバイザーに委託し、環境経済事業者のマーケティング、販売等を支援します。

○DMO(観光まちづくり組織)

専門アドバイザーの派遣を

受け、官民共同でDMO設立に向けた取組みを進めます。

○WEB用ショートムービー

の制作

WEBで外国人に豊岡を紹介する短編映像を制作します。

○無料WiFi

外国人観光客用に市内主要観光地に無料WiFi環境を整備します。

○海外戦略

昨年の城崎温泉の外国人宿泊客数は1万3877人で、前年比で44・8%の増です。従来の戦略市場の欧州、香港に加え、成長著しい東南アジアにも売り込んでいきます。

○コウノトリ育む農法の推進

無農薬栽培チャレンジ事業と有機育苗システム構築実証事業を実施します。

○コウノトリ育むお米の

海外販路開拓

海外の販路確保のため、マーケットリサーチ等を行います。

○有害鳥獣対策

わな猟のシカ捕獲専任班新設や捕獲実施隊編成により、捕獲体制を強化します。

○宅地事業特別会計の運営

平成26年度末で当会計を廃止します。

○北近畿豊岡自動車道の整備

「八鹿日高道路(平成28年度供用開始予定)」「日高豊岡南道路」の整備が進められています。

○城崎大橋の整備

左岸取付け道路工事に着手し、右岸取付け道路の用地買収等を実施予定です。

○城崎温泉街交通環境改善

城崎温泉街の観光客や地域住民の安全確保のため、交通状況等の調査解析を行います。

○コウノトリ但馬空港の

利用促進

定期便利用は、過去最高年度とほぼ同等で推移し、伊丹経由の東京乗継利用は年間1万人を達成する見込みです。

○北近畿タンゴ鉄道の運行

4月から、運行部門はWILLER TRAINS(株)、管理部門は北近畿タンゴ鉄道(株)。通称名は「京都丹後鉄道(丹鉄)」に、宮津―豊岡間の「宮津線」は「宮豊線」に変わります。

○豊岡市屋外広告物条例の制定

屋外広告物制限事項を景観計画に位置付け、県屋外広告物条例を市条例に移行します。

○全国町並みゼミ豊岡大会

6月に全国町並みゼミ豊岡大会を開催します。

○教育委員会制度改革

次期教育長の任期から、教育委員長と教育長を一本化した新教育長を任命します。

○とよか教育プランの策定

マイナスイから15歳までの保育・教育の基本理念等を定める、第3次プランを策定しました。

○豊岡市こども支援センター

不登校・発達障害等への支援の充実のために設置します。

○幼児期からの英語遊び保育

幼稚園・保育園・認定こども園で、CD等を活用した英語遊び保育を拡充します。

○コミュニケーション教育

モデル校で、演劇的手法を取り入れた、コミュニケーション能力育成事業をします。

○植村直己冒険館の機能検討

冒険者の拠点としての役割の検証、新たな機能等の検討をします。2015日本冒険フォーラムを開催します。

○城崎国際アートセンターの

運営体制の強化

最先端のレジデンス施設として高評価を受け、国内外のアーティストが滞在制作しています。「最先端の芸術文化に

よる若者の誘引」戦略の拠点とするため、市の直営にして体制強化を図ります。

○スポーツ施設のリニューアル

こうのとりのスタジアムの人芝生化と市民グラウンド陸上競技場の改修をします。

○地区公民館の整備

竹野南地区公民館は、平成28年度完成を目的に建替えを行います。

西気地区公民館は、旧西気小学校普通教室棟跡地に建設し、既存の特別教室棟や屋内運動場、グラウンドを無償貸与します。

○地域プロデューサーの配置

地域住民がまちづくりを自主的・自立的に実行できる仕組みづくりのため、地域プロデューサーを配置します。

○平成27年度の市の組織

支所を「振興局」に改編する等、市の組織改革を行います。

○コウノトリ豊岡寄付金状況

昨年12月のリニューアルから年末までの間で、約7256万円の寄付がありました。平成27年2月25日現在、平成26年度の合計は、8299万円で、平成25年度1年間と比較して、約14倍です。